

宗祖親鸞聖人
御誕生
立教開宗
850th
800th
真宗大谷派(東本願寺)

〈慶讃テーマ〉

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう



2025年5月20日 境内地の様子



発行所
真宗大谷派 帯広別院

〒080-0803
北海道帯広市東3条南7丁目7番地
TEL 0155-25-1122
FAX 0155-25-1124
テレホン法話 0155-27-1313



発行者 輪 番 田 豊
門徒会々長 中村 立美
印刷 アド・プリント

帯広別院ホームページ
<http://obibetu.or.jp/>

真宗大谷派 帯広別院 検索

「合掌」から教えられること 輪 番 田 豊

インドの仏跡巡拝をした時、飛行機の搭乗口で客室乗務員の方が合掌して「ナマステ」と言ってお迎えしてくれました。その時は、「今日は」というような挨拶の声をかけてくれたのかなと思っていました。後日「ナマステ」という言葉には「私はあなたを尊敬します」という意味があるということを知ることが大変驚きました。

合掌は、左右両方の手のひらを胸の前で合わせて行います。インドでは、右手は清浄、左手は不浄とされていますが、その両手が合わさるということに大切なことがあるように思います。

合掌は胸の前で行いますが、「むね」と読む漢字はいくつかあります。たとえば宗もむねです。その「宗」には、「尊・主・要」という意味があると教えられています。そういったしますと、「胸」は私が生きていることの一番大事なこと、中心であると言えるのではないのでしょうか。

ある先生が、胸というところは三三三十方の交差点ではないでしょうかと言われます。三世は過去・未来・現在の限らない時間、十方は東・西・南・北の四方、東南・西南・西北・東北の四隅、それに上・下の二方を加えた果てしない空間です。限らない時間と、果てしない空間が交わったところ、それを三三三十方の交差点と言われているのでありましょう。それを言い換えるなら「今、ここに」ということを表しているのではありませんか。その胸のところで合掌がなされるということは大きな意味があるのだと思います。

仏教では、仏さまの悟りの境地を「涅槃」と言われますが、涅槃をまた「安処」と名づけられています。「処に安んじる」と。この「処」と言われるのが、「今、ここに」ということではないかと教えられます。

胸のところで合掌するということは、今ここに私が生きていることにどれほどの限りはないだろうか、お陰をいただいているか、そのことをはつきりと知るといふことでありましょう。そして、今ここに身の実に心が安んじているか、そのことを問い尋ねて欲しいということではないでしょうか。どうぞ、別院の法座にお誘い合わせてご聴聞ください。

合掌

法語

「独尊」は独断ではない。
本当に自分自身の足で立てること。
自分の人生に責任をもつこと。

鍵主良教『無上涅槃の妙果』

仏華

【樹に聞く、華に聞く】

帯広別院で荘厳されている日々の仏華を、ここに記載させていただきます。
今回は、高さ10センチの花瓶に立てたお内仏の仏華になります。
花を立てる際に用いております木(ぼく)は第20組正念寺住職、波佐谷見正様よりいただきました。

①正面



②右側面



③左側面



子ども会 ピザ作り

この度、帯広別院子ども会が2月22日に開催されました。昨年に引き続き、十勝の食材を使ったピザ作り体験をメインに行い、楽しく過ごすことができました。

当日は午前9時から始まりの会を行い、子どもたちと一緒に正信偈をお勤めしました。慣れない正座に悪戦苦闘しながらも、一生懸命な声が本堂に響き渡りました。始まりの会の最後には、輪番のお話を静かに聞き、水分補給とトイレ休憩を済ませた後、正座で痺れた足をほぐすためにゲームをして遊びました。今回は、風船リレー、9マス鬼ごっこ、じゃんけん列車の3つのゲームを行いました。どのゲームも応援する私たちも熱が入ってしまうほど、楽しく遊ぶことができました。

体が温まったところで、午前10時から今回の子ども会の目玉となるピザ作りを開始しました。言わずと知れた十勝のますやパンさんに、「食育」と「地産地消」をテーマとした活動の一環として、石窯を軽トラックに積み込んで出張していただき

きました。前日に量り分けて袋詰めしておいた小麦粉に水を加え、振って揉み、生地を伸ばした後、参加者の保護者の方々に手伝い頂きながら、切り分けておいたトッピングを盛り付けました。その後、石窯で焼くこと3分。熱々のピザが出来上がりました。参加者一人ひとりが自分たちの手で作ったというこどもたちの姿を見ることができました。中には、「初めてピーマンを食べられた!」という声もあり、子どもたちが食材に親しみ、地元の食の良さやおいしさを感じてもらえたことを嬉しく思います。今回ご参加、お手伝いくださった保護者の方々、ご門徒の方々には心より感謝申し上げます。帯広別院では、今後も子ども会を定期的に開催したいと考えておりますので、ご参加・ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

今回の子ども会では、地元十勝の食材をふんだんに使ったピザをおいしそうに食べる子どもたちの姿を見ることができました。中には、「初めてピーマンを食べられた!」という声もあり、子どもたちが食材に親しみ、地元の食の良さやおいしさを感じてもらえたことを嬉しく思います。今回ご参加、お手伝いくださった保護者の方々、ご門徒の方々には心より感謝申し上げます。帯広別院では、今後も子ども会を定期的に開催したいと考えておりますので、ご参加・ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

庵 諒真



手作りのピザの昼食



ピザ生地作り



ピザ窯焼き



手作りのピザは美味しいよね

十勝のますやパンさんの説明

春季彼岸会 永代経法要勤まる

3月17日から20日まで、春季彼岸会並びに永代経法要が勤められました。ご講師として滋賀県湖南市より松本良平先生にご出講いただきました。また、20日お中日の勤行後に2024年9月23日、2025年3月16日までに永代経をご志納いただいた方を対象に記念品贈呈式が執り行われました。永代経志納者の方々へ輪番より、「帯広別院仏法興隆のために尊いご浄財としてご志納いただき誠にありがとうございます。ご志納いただき誠にありがとうございました。ご浄財は、次世代に繋ぐ念仏相続のため大切に納めさせていただきます。」と深く感謝の念が述べられました。

また、法要期間中に志納の受付として17日大久保豊男さん、佐々木潔さん、角田勝見さん、18日大久保豊男さん、尾山祐治さん、19日小野寺寿宏さん、中村勝美さん、20日葛谷和博さん、佐々木勝己さん、中村立美さん、終日昼食接待として立松功子さん、鈴木紀子さんにお手伝いをいただきました。

4日間の法要期間には、平生から参詣される方、永代経志納者のご家族が参詣され100名を超え、ご参詣をいただきました。



永代経志納者記念品贈呈式

婦人会総会・報恩講・物故者追弔法会

4月6日午前10時30分より本堂にて、角田敏子婦人会会長の挨拶に始まり、総会の開催、報恩講並びに婦人会物故者追弔法会が勤修されました。

総会では、2024年度事業・一般会計の報告、2025年度事業計画案・一般会計予算案の審議がなされ可決いたしました。続けて前々婦人会会長を勤められた現婦人会相談役の米谷壽美子氏へ、大谷婦人会北海道連合会より長年にわたり大谷婦人会の発展にご尽力を捧げられたとして表彰状と記念品が贈呈されました。この度の贈呈は、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年、立教開宗八百年、現如上人百回忌法要を機縁に対象者へ大谷婦人会北海道連合会より発起されました。最後に役員の紹介が行われ、新たに杉本真由美さんと戸坂敬子さんが幹事に就かれたことが報告されました。

また、報恩講に引き続き勤まりました。物故者追弔法会では、2024年度に命終された5名の婦人会会員が対象となりました。ご家族には法要中にご焼香をいただき、輪番より記念品が贈呈されました。



米谷 壽美子氏

会館館内に女性用控室が新設される

オムツ交換台



4月14日～4月29日にかけて帯広別院会館1階大講堂横に、女性用控室の新設工事が行われ4月30日に引き渡しが完了しました。

この度新設されました女性用控室は、報恩講にご出仕いただいた女性僧侶やご法事のため来院された女性の方々のお着替えにご使用いただけます。



女性用控室

今回、多くの方がより利用しやすい館内を目指して、女性用控室を設置させていただきました。また、オムツ交換台を女性用控室と本堂に、1階多目的トイレにオストメイト、車椅子を事務所前に設置しておりますので安心してご参り下さい。

境内地が、お花で彩られる季節となりました

5月14日午前中に帯広別院ご門徒有志の方々による、境内地の花植え奉仕作業をいただきました。また、5月2日午後には事前準備として「推進員の会」の佐々木勝己会長、尾山祐治さんに土起こし奉仕作業を行っていただきました。

皆様のご協力の元、マリーゴールド、サルビア、ペコニアなど多数の株を南門道路付近に、本堂、会館、第二納骨堂前にはプランターが配置されましたので、お参りの際にはお花で彩られた境内地をお楽しみ下さい。



苗植え



水やり

帰敬式(生前に法名を頂く儀式)を受けましょう

わかりやすい真宗教室に参加しましょう

法名をいただくまでのながれ



①法話を聞きます



②お内仏について学びます



④帰敬式について学びます



③勤行を練習します



⑤おかみそりを受けます



⑥法名が渡されます

【内容】 法話・お内仏のお給仕・お勤めの練習
法名授与(入門講座2回以上受講で帰敬式授式の方のみ)

【日程】

第1回真宗入門講座	2025年11月3日(月)	午後1時30分～3時30分
第2回真宗入門講座	2025年11月9日(日)	午後1時30分～3時30分
《 帰 敬 式 》	2025年11月16日(日)	午後1時30分～3時00分



帰敬式

(生前に法名をいただくことについて)

近年、終活についてテレビなどのメディアにてよく取り上げられております。ご門徒さんからも終活の一環として、生前にご法名をいただきたいとご相談を受ける機会も増えてまいりました。終活について考えてまいりますと、多くの人は不安を抱き苦悩のただ中を実感するのではないのでしょうか。その不安・苦悩の根本にありますのが、「生・老・病・死」(四苦)の問題です。この問題について私たちに先立って悩み向き合い、人々へ教え示してくださった方々が、釈尊をはじめ、宗祖親鸞聖人、先達の有縁の方々であります。

では、生前に法名をいただくことについて確かめてみたいと思います。それは、人生を終わりにする完結的な意味ではなく、様々な苦悩を抱えた私たちが益々自らの人生を仏の教えを依り所して大切に生きていく歩みなのであります。その歩みの始まりを本堂ご本尊に宣言をして生前に法名を頂き、更にはご自宅のお内仏のご本尊においてその歩みを生活の中心として生きることが大切な意味とされております。

また、その大切な意味、教えが形とされたのが、「お内仏(仏壇)」になります。その、「お内仏(仏壇)」を中心とした生活の中で大切にされてきたことが、「ご本尊に手を合わせお念仏申すこと」、「お内仏をお給仕させていただくこと」、「声に出して勤行すること」であります。

この度は、その教えの意味合いを多くの方々と共に考え深めていきたく、「真宗入門講座」(全2回)、「帰敬式」(法名を頂く儀式)を開催いたします。

是非この機会に、ご参加いただきたくご案内申し上げます。受講、授式をご希望の方は、帯広別院までお問合せ下さい。

※帰敬式を授式いただくには、真宗入門講座を2回受講していただくことが必須となっております。

納骨堂参詣者は必ずお読みください お供物の意味

毎年納骨壇に沢山のお供物が上がっており、先立った先祖が食するものではありません。私たちの今生かされてる生命はすべてのもに支えられて生きています。特に食物は生命を支えてくれる代表的なものです。その生命を支えて下さるお供物、食物

は仏さまが私たちに「意味ある人生を果たして欲しい」と、お与え下さったものなのです。ですから仏さまのお供物は私たちが喜んでいただいてこそ意味があるのです。



お供え物について

- ・ お供え物は17日(日)までにお控え下さい。
- ・ 腐敗しやすい物はさけて下さい。
- ・ ビンやカンは封を切らないで下さい。

【納骨堂申経期間】
8月12日(火)～15日(金)
午前9時～午後5時
※12時～14時は本堂で法要のため中断



参詣者と談話される松井勇先生

【孟蘭盆会法要】

8月12日(火)～14日(木)(3日間)
午後1時～3時 於 本堂
講師 松井 勇先生
(富山県南砺市)

【盆参り期間】

7月24日(木)～8月20日(水)
7月上旬にお参りの日時をハガキにてご連絡させていただきますので、法事のご依頼は日程調整のため早めにご相談下さい。

また、今年度のお盆参りは4月より列座が4名となりましたので、幕別町蓮生寺鳥毛浄生さん、厚岸町正念寺波佐谷英さんには、例年より多く法務加勢の日数を依頼しております。

孟蘭盆会について

退職挨拶

この度、一身上の都合により、3月末日をもって真宗大谷派帯広別院を退職させていただくこととなりました。短い2年間ではございましたが、皆様から多大なるご厚誼とご指導を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

帯広別院に勤務させていただくこととなった当初、学校を出たばかりで、多くのよそ者であった私が、この帯広で受け入れていただけるのかと不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、皆様は温かく迎え入れてくださり、支えてくださいましたことに対して、深く感謝しております。先輩列座やご門徒の皆様からは、儀式や声明の作法のみならず、仏事に対する姿勢など、数多くのことを教えていただき、成長することができたと感じております。

退職後は、富山県南砺市の自坊に戻ることとなりますが、これまでの2年間で得た教えや経験を活かし、さらなる成長を目指して精進していく所存です。今後とも、皆様に恥じぬよう努めてまいります。また、帯広には富山県をルーツに持つ方々が多くいらっしゃることを知り、大変嬉しく思っております。もし皆様が富山県に足を運ばれることがあれば、ぜひお声掛けいただけますと幸いです。再びお会いできる日を楽しみにしております。

最後になりますが、2年間にわたるご指導ご鞭撻、またお力添えを賜りましたこと、深く感謝申し上げます。皆様の今後のご活躍と、帯広東別院の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。どうか今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、退職のご挨拶とさせていただきます。
庵 諒真



「推進員の会」・「婦人会」 合同研修旅行(日帰り)

初夏の爽やかな風が心地いい季節となりました。

そこで、「推進員の会」、「婦人会」合同主催の日帰り研修旅行を以下の通り開催することになりました。

お誘い合わせの上、皆様のご参加をお待ちしております。

●日時：7月1日(火) 10時～15時30分頃

●内容：参拝(蓮生寺)・懇親会(十勝ナウマン温泉ホテルアルコ)

●場所：幕別町忠類

●参加費：10000円(当日納入下さい。)

●主催：「推進員の会」・「婦人会」

●申込方法：6月20日までに事務所へご連絡いただくか、お参りの際に

列座へお申し付け下さい。

永代経志・寄贈披露

尊い浄財・寄贈を賜り上げました。ここに御披露申し上げます。

【永代経志】

令和6年12月1日

施主 森 康代様

令和6年12月14日

施主 石田 和夫様

令和6年12月22日

施主 細川 節子様

令和7年1月29日

施主 高橋 秀雄様

令和7年2月16日

施主 末末 茂之様

法座ご案内

【法要ご案内】

「先門首御命日法要」

毎月12日(速夜) 13日(日中)

午後1時～午後3時 法話

教区定例講師 輪番・列座

「宗祖親鸞聖人御命日法要」

毎月27日(速夜) 28日(日中)

午後1時～午後3時 法話

輪番・列座

【講座ご案内】

「婦人会定例」毎月6日

午後1時 法話

輪番・列座(夏季のみ2席)

2025年度「大谷大学公開講演会」

7月8日(火) 14時30分

講師 ロバート・ローズ先生

(大谷大学名誉教授)

専門分野：仏教学

第58回暁天講座のご案内

夏の暑さを避け、早朝の澄んだ空気の中で宗祖親鸞聖人があきらかにされた本願念仏の教えを聴聞いただく公開講座です。皆さまのご参詣、お待ちしております。

東別院会場 本堂

午前6時30分～午前7時まで

7月10日(木) 法話

菜原 覚陽先生 帯広市如来寺

7月11日(金) 法話

講題 「阿弥陀仏は光明なり」

松久 智行先生 新得町弘願寺

7月12日(土) 法話

講題 「世のいのりにこころいれて」

亀渕 卓先生 石川県七尾市法広寺

西別院会場 本堂

午前6時30分～午前7時まで

7月13日(日) 15日(火)

法話 西別院

気持ちの良い夏の朝
お寺で一日をスタート
してみませんか♪



学校法人帯広同朋学園 帯広東幼稚園

「ののさまを拝む よいに ～ つよく あかるく なかよく」

なかまと出会い、よく遊び、よく食べ、生きる力を培います



カートは快適(0歳)



何が見えるかな(1歳)



いっしょにあそぼう!(2歳)



お散歩たのしいね!(4歳)



頼もしい年長組さんとお散歩・・・うれしいな!(5歳・3歳)



令和7年度がスタートしました!

泣いていた子たちも自分の先生、自分のクラスを覚え、安心して過ごせる日が増えています。

また、今年も雪解けが早く、4月から早速お散歩やバスに乗って園外保育へ出かけています。

少しずつ行動範囲も広くなり、気持ちよく戸外での活動も楽しめるようになります。

5月からは、6月に開催される運動会へ向けての練習も始まります。

1年を通して、0歳～2歳は園生活習慣になれ「あそぶ」「たべる」「ねむる」を基本として、安心感をもって生活することが目標となります。

3歳～5歳の幼児は、基本的な生活習慣はもちろん「集団活動」の中で友だちを意識し、友だちと楽しみながら活動することが中心となります。

子どもたちひとり一人の思いに寄り添い、日々の生活を大切に過ごしていきたいと思います。

HP <http://www.higashi-kodomo.jp>
Instagram おびひろひがしうちえん